



2023年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 株式会社ビザスク 上場取引所 東
 コード番号 4490 URL <http://visasq.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 端羽 英子
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小風 守 TEL 050-3733-8513
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社Webサイトに掲載掲載）
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第3四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	6,304	236.7	88	—	37	—	△89	—
2022年2月期第3四半期	1,872	66.2	△252	—	△514	—	△541	—

(注) 包括利益 2023年2月期第3四半期 3,064百万円 (—%) 2022年2月期第3四半期 △539百万円 (—%)

※1. 上記表の営業利益の額は、2021年11月にColeman Research Group Inc.を買収した際に識別したのれん等の無形資産にかかる減価償却費を計上した後の金額であり、当該減価償却費を計上する前の2023年2月期第3四半期営業利益の額（のれん等償却前営業利益）は、667百万円 (—%) であります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第3四半期	△31.93	—
2022年2月期第3四半期	△63.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第3四半期	22,148	13,131	59.0
2022年2月期	18,750	10,048	53.2

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 13,064百万円 2022年2月期 9,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年2月期	—	0.00	—	—	—
2023年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	取扱高 (注)		営業収益		のれん償却前 営業利益 (注)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	12,700	123.8	8,470	128.8	610	△18.3	△200	—	△280	—	△480	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「取扱高」とは、知見プラットフォーム事業において顧客から得た対価（値引控除後）の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます。「のれん等償却前営業利益」とは、営業利益+のれん等償却費（Coleman買収により新たに識別したのれん並びに無形資産の減価償却費）により計算しております。なお、同社が有するソフトウェアの減価償却費を費用とし

て計上しております。また、「%」は、2022年2月期におけるのれん等償却前営業利益に一時的なM&A関連費用を加算した額である746百万円との比較により計算しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期3Q	9,121,050株	2022年2月期	9,028,850株
② 期末自己株式数	2023年2月期3Q	75株	2022年2月期	75株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期3Q	9,101,803株	2022年2月期3Q	8,872,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2022年10月14日に開示した「2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症への対応としてワクチン接種の浸透など社会的対応が進展しております。また、ウクライナ情勢や不安定な為替相場など、予測が難しい経済情勢が依然として継続しております。

当社グループが属する情報・サービス系の産業においては、持ち直しの動きがみられます。BtoB情報プラットフォーム市場の売上高規模は、2022年1月～10月の合計で3,180億円（前年同期比約3%増）となっております（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査（2022年12月公表）」の「データベース」及び「各種調査」を合計）。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における知見プラットフォーム事業は、全般的に好調な成長を継続しております。

グローバルENS（グローバルなコンサルティング・ファーム、金融機関等を主要顧客層とする事業領域）においては、国内のクライアントにおいて特に好調な業況感が継続しております。一方、米国においては、金利政策などに起因する株式市場の混乱などが原因となって事業環境の不安定さが継続しております。

国内事業会社向けプラットフォームにおいては、マーケティング施策の推進に伴う法人クライアント口座数の拡大基調の継続と、顧客内での利用度の高まり、また、複数商材の展開が顧客のニーズに合致していることなどにより、事業の成長が継続しております。

また、前期に買収したColeman Research Group, Inc.の業績を当期より連結しております。同社が有する顧客網、知見データベースや組織、システムを活用して、国内外のクライアントの開拓、取引ニーズの発掘を推進しております。国内のクライアントには、海外の先進事例などにアクセスできる機会を創出でき、また、海外のクライアントには、日本における事業環境、業界慣行、技術創出などに関する知見にアクセスできる機会を創出できております。このように、Coleman社との事業統合を通じた中長期的な競争優位性の確立を通じて、当社グループの事業の潜在的な成長性は飛躍的に高まっております。米国における厳しい事業環境が継続している中においても、環境への柔軟な対応や組織効率化などの施策によるグループとしての収益及び効率を追求し、企業価値の向上を目指します。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末時点で登録者数は54万人超となり、取扱高は知見プラットフォーム事業全体で9,332百万円（前年同期比213%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における営業収益は6,304,462千円（前年同期比237%増）、営業利益88,012千円（前年同期は252,086千円の営業損失）、経常利益37,462千円（前年同期は514,300千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失89,869千円（前年同期は541,244千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は22,148,691千円となり、前連結会計年度末より3,397,936千円増加しました。これは主に、事業規模の拡大により現金及び預金及び売掛金が増加したこと等により流動資産合計が606,683千円増加したこと、及び米ドルに対する円の為替相場が円安に推移したことによりColeman Research Group Inc.に属する無形資産の円換算額が前期に比べて増加した結果、無形固定資産合計が2,735,824千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は9,017,442千円となり、前連結会計年度末より315,107千円増加しました。これは主に、事業規模の拡大により法人クライアントから收受する前受金が363,218千円増加した一方、Coleman Research Group, Inc.の買収対価のうち前連結会計年度末時点で未払金に計上されていた額を支払ったこと等による未払金の減少額204,826千円等により流動負債合計が137,769千円増加したことによるもの、及び長期借入金が225,187千円減少し、米ドルに対する円の為替相場が円安に推移したことによりColeman Research Group Inc.に属する繰延税金負債の円換算額が前期に比べて増加したことにより、固定負債合計が177,338千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,131,249千円となり、前連結会計年度末より3,082,828千円増加しました。これは当第3四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する四半期純損失89,869千円を計上したことのほか、米ドルに対する円の為替相場が円安に推移したことによりColeman Research Group Inc.に属する資産

負債の円換算額が前期に比べて増加したことに伴い為替換算調整勘定が3,154,564千円増加したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,123,052	3,674,663
売掛金	1,633,940	1,859,737
その他	330,774	166,289
貸倒引当金	△11,502	△17,742
流動資産合計	5,076,265	5,682,948
固定資産		
有形固定資産	66,804	89,319
無形固定資産		
ソフトウェア	53,736	215,586
マーケティング関連資産	224,811	263,290
技術関連資産	1,448,533	1,647,213
顧客関連資産	4,184,811	5,000,772
アドバイザー関連資産	1,361,070	1,641,180
のれん	6,123,337	7,364,080
無形固定資産合計	13,396,299	16,132,124
投資その他の資産	211,387	244,299
固定資産合計	13,674,490	16,465,743
資産合計	18,750,755	22,148,691
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,446	251,896
未払金	532,913	328,087
1年内返済予定の長期借入金	490,250	300,250
未払法人税等	84,199	95,296
前受金	1,202,622	1,565,840
賞与引当金	389,468	358,191
その他	60,407	234,513
流動負債合計	2,996,306	3,134,075
固定負債		
長期借入金	3,624,687	3,399,500
繰延税金負債	2,081,340	2,483,866
固定負債合計	5,706,028	5,883,366
負債合計	8,702,334	9,017,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,023	440,290
資本剰余金	9,229,330	9,229,330
利益剰余金	△193,242	△283,111
自己株式	△278	△278
株主資本合計	9,457,832	9,386,230
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	524,013	3,678,578
その他の包括利益累計額合計	524,013	3,678,578
新株予約権	66,574	66,440
純資産合計	10,048,420	13,131,249
負債純資産合計	18,750,755	22,148,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
営業収益	1,872,244	6,304,462
営業費用		
役員報酬	36,007	87,532
給料及び手当	613,793	2,476,142
支払報酬	696,365	336,007
賞与引当金繰入額	110,000	342,351
その他	668,164	2,974,416
営業費用合計	2,124,330	6,216,450
営業利益又は営業損失(△)	△252,086	88,012
営業外収益		
受取利息	12	20
受取家賃	1,355	9,463
補助金収入	4,262	4,759
為替差益	4,339	—
営業外収益合計	9,969	14,244
営業外費用		
支払利息	10,501	35,898
為替差損	—	28,888
資金調達費用	261,681	—
その他	—	7
営業外費用合計	272,183	64,794
経常利益又は経常損失(△)	△514,300	37,462
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△514,300	37,462
法人税、住民税及び事業税	32,080	275,920
法人税等調整額	△5,136	△148,588
法人税等合計	26,944	127,331
四半期純損失(△)	△541,244	△89,869
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△541,244	△89,869

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)
四半期純損失(△)	△541,244	△89,869
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,423	3,154,564
その他の包括利益合計	1,423	3,154,564
四半期包括利益	△539,821	3,064,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△539,821	3,064,695
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

ただし、従前の収益認識の方法から変更はなく、当3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第3四半期連結累計期間の利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

当第3四半期連結会計期間においてColeman Research Group, Inc.の株式を取得したことにより、当第3四半期連結会計期間末より同社を連結の範囲に含めております。なお、同社の損益計算書は当第3四半期連結会計期間において連結していないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	合計
2,819,371	3,485,091	6,304,462

(注) 1. 営業収益は、顧客と契約している当社グループ法人の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。以下、(2)も同様であります。なお、「米国」にはColeman Research Group, Inc.が分類されております。

2. なお、上記営業収益はすべて「顧客との契約から生じる収益」であり、その他の収益はありません。

(2) 営業利益

(単位：千円)

日本	米国	合計
751,881	△663,868	88,012

(注) 上記の金額は、のれん等の無形資産の減価償却費を計上した後の金額です。